

月刊 やちまなこ

2012.9.15 発行

No. 178

9 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



9月も中旬となり、秋の気配が漂い始める頃だが、いまだに湿度が高く蒸し暑い日が続き、残暑見舞いの便りが届いてもおかしくない感じがする。

今年の夏はセミの鳴き声もほとんど聞かず、気がつけば湿原にはトンボが飛び、ガマの穂が風に揺れ、ウメバチソウの花弁が輝いている。暑い暑いと額に汗を滲ませながら嘆く人間の声を無視するように、釧路湿原は季節の衣替えを徐々に始めているようだ。

コッタロ川と湿原のほとりから

147 9月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住・中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

暖秋の木漏れ日がまっ赤に熟れた玫瑰（ハマナス）の実にこぼれて、何とも心地好い温もりを感じさせてくれるこの頃です。色付き始めたクルミの樹林に入り、黄葉した順に落葉する様を見るともなしに眺めていると、この夏は蛇一匹にも出合わず、夏蝉（コエゾ蝉）の鳴き声すらきこえず仕舞いであった事が残念に思われるのでした。



お盆の道連れとして束の間、猛暑を味わわせてくれた月遅れの“夏の精”が意外にも長居をして、のび悩んでいた畑作物の面々を勢い付かせ、根物、葉物を問わず、今を盛りに育てております。案じられていた「稔りの秋」は、このようにしっかりと帳尻を合わせて下さるお天道様のお陰様で平年並み位には落ちつくことでしょう。

さて、花と緑に覆われた小さな我家では、ユリシリーズのフィナーレを飾るオニユリにアゲハ蝶等が最後の仕事を全うし、満開の秋桜群で種採り作業をしていると、多くが8枚花弁の中にあって9枚のものあり、斑入りのものありで変化に富んでいるではありませんか。又、山際の笹原にミツバベンケイ草が顔を出し“オイデ、オイデ”しているのをパチリ。面白いのは、4枚葉、5枚葉のもであっても“ミツバ”とは、これいかに？これだから山野草への興味は尽きないのですね。（写真）

特筆すべきは何と云っても丹頂の幼鳥等で、飛べる目安となる100日目はおるか90日を待たずして早々に飛翔することが出来たのは何故か？？？これ迄にない記録的な事実は未来の参考になるかも知れません。

ところで、この時季独特の雲の波が形造る複雑微妙な変化に、沈みつつある夕日が映えて刻一刻染め上げられて行く様は、丁度聴いていたクライスラーの前奏曲とアレグロのリズミカルな調べとが不思議な感覚へと導いてくれるのに酔い痴れる夕暮れでもありました。



湿原の住人たち その138

金魚鉢に入れる草にそっくりのキンギョモ（別名）が咲いていました。湖でカヌーを楽しんだ方からも名前を聞かれる水草のひとつで、ホザキノフサモ（穂咲房藻）という常緑の沈水植物です。水面から立ち上がるように伸びた茎の先に穂状の花が咲き、花期に遠目から水面を見るとツツツと土筆（杉菜）が生えているようにも見えます。上部には雄花、下部には雌花がついています。なかなか目にする機会がないかもしれませんが、全国の湖沼や河川などで人知れず咲いています。

シラルトロ湖 9/1

ホザキノフサモ



実りの秋です！ 実とその花の写真を線でむすびましょう。答えは4頁にあります。



・
・



・
・



・
・



つぼっちの塘路周辺うろうろ日記 Vol.64 「秋の塘路の風物詩」

九月上旬の塘路湖で、1艘の川舟を見かけました。この季節に川舟で採るものといえば、塘路ではペカンベ（菱の実）以外にありません。

塘路湖のペカンベは有名で、古くより塘路アイヌが採取していました。毎年九月上旬ペカンベの実がなる頃に、ペカンベ祭りと呼ばれる、神さまにペカンベの収穫をお願いする祭事が行われていました。私が塘路へ来た10年前にはすでに、祭りは休止していましたが、ペカンベ採りの川舟は2～3艘見られ、地元のおばさん達が採っていました。しかし現在ペカンベ採りの方々も高齢化により辞めてしまい、現在お一人しか採っていません。川舟を櫂で漕ぎ、船を大きく傾けながらペカンベを採る姿が、近い将来には途絶えてしまうのかもしれませんが。

この風景は、標茶の無形文化財たり得ると思っています。なんとかこの風景を残したいものです。 坪岡 始（標茶町郷土館学芸員）



10月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

ぶらり塘路～クイズ de 観察

[日時] 10/13 (土) 10:00～12:00
[定員・参加料] 10名、無料
[場所] 塘路周辺 *集合場所は塘路駅前
[持ち物] 筆記具

バードカーピング講座1回目(全5回)

[日時] 10/21 (日) 11:00～15:00
[定員・参加料] 15名、初参加の方は4,000円
[場所] 塘路湖EMCレクチャールーム
[持ち物] 筆記具、定規、エプロン、昼食

問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで 015-487-3003

秋の湿原ハイク

[日時] 10/21 (日) 10:00～12:00

申し込み 問い合わせは 温根内ビジターセンターまで 0154-65-2323

塘路湖・シラルト湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【植物】(8/19)ノブキ.オニグルミの実.キタコブシの実.サラシナショウマ.ガガイモ.タラノメの花.エゾウコギの花.ミヤマニガウリ (8/28)オニユリ.ツリガネニンジン (8/30)ミゾソバ.ウドの花.ツルウメモドキの実.コウライテンナンショウの実.チドリケマン (9/1)ヤナギタウコギ.アキノウナギツカミ.イヌタデ.ホザキノフサモ.ヒシの花と実 (9/5)シラヤマギク.トウヌマゼリ.サウギキョウ.カラフトイバラの実.ススキ.ハンゴンソウ.オオハンゴンソウ.コガネギク.ガマの穂.キタヨシの紅い穂.マコモ
【鳥】(8/17)タンチョウ.オシドリ (8/18)オジロワシ.センダイムシクイの死骸 (9/1)ベニマシコ.アオジ.アオサギ (9/5)ヒシクイの群れ(今季初確認) (9/11)マガモ
【その他】(8/17)ミンク.ルリボシヤンマ.エゾトンボ (8/18)シマヘビの死骸.コオニヤンマ.フタスジチョウ.コエゾゼミの声 (8/28)ウラギンヒョウモン (8/31)ハネナガキリギリス.カンタン (9/1)ヨツボシトンボ.クロイトトンボ.カラスアゲハ (9/11)キトンボ.アキアカネ.シオカラトンボ

3頁の答え

上段・実：左からヒシ.オオウバユリ.カンボク 下段・花：左からオオウバユリ.カンボク.ヒシ

「第18回タンチョウイラスト展」巡回展のご案内

10月5日から20日まで、レクチャールームに於いて釧路根室管内の小中学生が描いたタンチョウのイラストを展示します。タンチョウの魅力が伝わる素晴らしい作品をぜひご覧ください。

日出・日入時間 9/15(5:02,17:33) . 9/30(5:18,17:06) . 10/14(5:34,16:42)



オオバボダイジュの実(サルボ9/7)

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail:emc@hokkai.or.jp

開館時間 10:00～17:00(11月～3月は16:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日～1月3日 入館無料